

## フォーラム・セミナー報告

# 初年次生を対象とした全学共通科目「スタディスキルゼミ」 文学部「知のナビゲーター」 担当教員合同ワークショップを開催しました！

3月24日にスタディスキルゼミ、知のナビゲーターウークを担当される先生方を対象にワークショップを開催しました。このワークショップは、初めて当該授業を担当される教員、これまで継続的に授業を担当している教員を対象としています。ワークショップの目標は、「①他者と授業実践（目的、方法、評価）について共有し、自身の実践の良さを見出し、課題に関しては改善点を検討し、授業で試行的に実践できる」「②大学で提供している学習支援（ラーニングアシスタント、ライティングラボ、ラーニングcafé）に関する情報を適宜学生に提供できる。」の2点でした。

まず「①他者と授業実践（目的、方法、評価）について共有し、自身の実践の良さを見出し、課題に関しては改善点を検討し、授業で試行的に実践できる」では、インストラクションナルデザインに関する基礎的な事柄について紹介をしました。授業を設計する際には、授業の目標、評価、方法のバランスをとることが非常に重要になります。先生方にはシラバスを振り

返っていただき、「授業目標が具体的に書かれているか」「目標を達成するための教育方法となっているか（目標と方法に合致しており、ずれがないか）」「授業目標の達成を見極めることができている評価の方法となっているか（目標と評価方法が合致しており、ずれがないか）」について検討していただきました。評価に関してはループリック評価についても紹介させていただきました。

その後、グループごとに、目標を達成するためにうまくいっている手立てや課題について話し合う機会を持ちました。話し合いでは「プレゼンやレポートで取りあげるテーマにはどのようなものが適しているのか」「グループワークで自分の意見を言えない学生へのサポートの方法はどうのうにしているのか」などの意見が出て、積極的な意見交換がなされました。事後アンケートでは話し合う時間をもっとほしかったという意見も出ており、議論が盛り上がった様子を受け取れました。

「②大学で提供している学習支援

日時：3月24日（火）13:00～15:00  
場所：第1学舎1号館 A201教室



ワークショップの様子

（ラーニングアシスタント、ライティングラボ、ラーニングcafé）に関する情報を適宜学生に提供できる。」では、関西大学が実施しているライティングラボでの文章作成支援やラーニングカフェについて紹介をし、授業の中でどう活用できそうかについてご意見をいただきました。2時間という短い時間でしたが、活発な意見交換がなされました。来年度も実施を予定していますので、関心を持たれた先生方はぜひご参加ください！

（教育推進部 岩崎千晶）

## 今期もFD Caféを開店しました

4月18日（土）、「FD Café」（新任教員研修会）を開催しました。新年度開始早々の気忙しい時期でありましたが、16名の参加を得ました。新任教員での授業を数回経てからの方がアリティに満ちた対話ができるとの考え方から、2011年度より開店時期を4月の下旬辺りにセッティングしています。

また一昨年度より、CTLが推進する各種プロジェクトの内容をご理解いただき、

それを日常の教育実践に反映していただけるようにメニューに変更を加え、充実を図っています。

Café Timeはクリッカー（オーディエンスレスポンスシステム）を用いてのアイスブレイクからはじめり、その後、ICTを利用した授業実践の報告や授業支援システムの利用方法の案内、TA・LAすなわち学生の教育力を活用する制度の説明、ライティング・ラボやコラボレーション・コモンズなど、CTLの新しい取組の紹介、あるいはグループワークの意義と価値を学生が実感できる手法の体験など、さまざまなインフォメーションやコンテンツ、メソッドを提供できたと思います。

このFD Caféは次のようなコンセプトに導かれて営業しています。すなわち、Faculty〔大学教員集団〕が教育改善のために必要なことをDevelop〔開発・伸長〕するために、まずは教員間の意思の疎通・共有が

日時：4月18日（土）13:00～18:00  
場所：第2学舎2号館 C301教室

求められるが、そのためには“Free Dialogue”が不可欠であり、それは私たちが生きていく上で不可欠の“Food & Drink”的なものである、折角、口にする機会に恵まれるのなら、美味しい楽しく味わいたい、そんな場を必ず持ちたい、ということです。ここに自分たちの所属する組織がどんな方がたであってほしいのか、私たちはそこにどれだけ関与できるのか、そのような“Future Design”を描き、その内容を伝え合う機会もそっと織り込みたいと願っています。

コンテンツやメソッドに関する情報等を提供することも大切ですが、学部や専門分野を越えた教員のつながりを大切に育んでいくこと、これあってこそ豊かなFDを展開できると考えています。今後も、新しいメニューを開発していくつもりでいます。4月以外の開店も考えております。その折りには、どうぞお気軽にお訪ねください。

（教育推進部 三浦真琴）



FD caféの様子